



<報道用資料>

平成 22 年 10 月 13 日

泰星コイン株式会社

鑄造：オーストラリア・パース造幣局 / 発行：オーストラリア連邦

卯年兎図記念コイン

10 月 18 日(月)より国内予約販売開始

泰星コイン株式会社（本社：東京／社長：岡 政博）は、「卯年兎図記念コイン」の日本国内での予約販売を、栃木、新潟、北陸、中国地区の金融機関と泰星コイン株式会社などを通じて 10 月 18 日（月）より開始いたします。このコインは、2011 年の十二支である卯年を記念して、オーストラリア・パース造幣局が鑄造し、オーストラリア連邦政府が発行するものです。価格は、100 ドル金貨が 294,000 円（限定 200 枚）、25 ドル金貨が 84,000 円（限定 300 枚）、30 ドルカラー銀貨が 147,000 円（限定 200 枚）、1 ドル銀貨 4 種セットが 42,000 円（限定 400 セット）（いずれも税込価格）で、1 ドル銀貨はセット販売のみとなっています。

■毎年最初に日本へ紹介される十二支コイン

各国の造幣局から鑄造される十二支コインの中でも、毎年最初に日本へ紹介されるオーストラリア連邦政府が発行する十二支コインです。金貨・銀貨には、卯年を表す「Year of the Rabbit」と中国語の「兔」が刻まれています。金貨裏面には、白菜を食べるうさぎが、銀貨裏面には、親子のうさぎが、いずれも愛らしくデザインされています。

■金融機関で初めてご案内する 1Kg 大型カラー銀貨

美しいプルーフ仕上げの金貨は、黒いメタリックベースのボックス付で豪華な輝きを放ちます。金融機関で初めてご案内する 1Kg の大型カラー銀貨は、迫力の質感と鮮やかなカラー着色が施されています。またバラエティーに富んだ銀貨 4 種セットは、<プルーフ>、<K24 金メッキ>、<カラー>、<未使用>と 4 種類の異なる仕上げが並ぶ楽しいコレクターアイテムです。

■金貨・銀貨ともに高品位

金貨は 99.99% の純金、銀貨は 99.9% の純銀と共に高品位の仕様です。いずれもオーストラリア連邦政府が保証する、卯年兎図記念コインはオーストラリア・パース造幣局の精緻なデザインと洗練された鑄造技術による、最高級のコレクションとなっております。

発行限度数も 100 ドル金貨 3,000 枚（対日割当数 200 枚）、25 ドル金貨 5,000 枚（対日割当数 300 枚）、30 ドルカラー銀貨 7,000 枚（対日割当数 200 枚）、1 ドル銀貨 4 種セット 1,500 セット（対日割当数 400 セット）と限定されており、希少性が大変高くなっています。



卯年兎図記念コイン発売概要

販売価格■

A: 100 ドル金貨	294,000 円	(限定 200 枚)
B: 25 ドル金貨	84,000 円	(限定 300 枚)
C: 30 ドルカラー銀貨	147,000 円	(限定 200 枚)
D: 1 ドル銀貨 4 種セット (① ② ③ ④)	42,000 円	(限定 400 セット)

※いずれも税込み価格です。

※すべて特製ケースと発行証明書を添付します。

※1 ドル銀貨はセットでの販売のみです（単品販売はいたしません）。

規格および発行限度数■

	額 面	品位	重量	直径	状態	発行限度数	対日割当数
金 貨	100 ドル金貨	99.99%	31.112 g	39.34mm	プルーフ	3,000枚	200枚
	25 ドル金貨	99.99%	7.777 g	22.60mm	プルーフ	5,000枚	300枚
銀 貨	30 ドル銀貨	99.9%	1001.002g	100.60mm	未使用	7,000枚	200枚
	1 ドル銀貨	99.9%	31.135 g	45.60mm	プルーフ/ 未使用	1,500セット	400セット

※プルーフとは表面を鏡のように美しく磨いた特別仕上げのことです。

発売開始日 ■ 平成22年10月18日（月）一斉発売開始 ※発売窓口は別頁参照

鑄 造 ■ オーストラリア・パース造幣局

発 行 ■ オーストラリア連邦

輸 入 元 ■ 泰星コイン株式会社

本件に関するお問い合わせ先

《卯年兎図記念コイン》事務局（泰星コイン内）

〒170-0013 東京都豊島区東池袋 2-23-2 UBG 東池袋ビル 1F

担当／本田、馬場、小野、庄司

TEL. 03-3590-8276 E-mail: secretariat@taiseicoins.com

FAX. 03-3590-8305 <http://www.taiseicoins.com/>



デザインと解説-1

<表 面>

(すべての金貨/銀貨共通)

イアン・ランクブロードリーによる女王エリザベス2世の肖像と発行年、額面、オンス単位の重量、品位が刻まれています。



金貨



銀貨

デザインと解説-2

<裏 面>

(金貨共通裏面デザイン)

チャイニーズキャベツ（白菜）を食べるウサギを中央に描き、正月に素晴らしい未来が到来するようにと願いを込めて「倒福（福が逆さ）」＝「到福（福が到る）」の意味を表す「福」の字を逆さに貼った酒壺と中国語の『兔』があしらわれています。下部には卯年を表す英語の『Year of the Rabbit』、左側にある“P”はオーストラリア・パース造幣局のミントマークです。

A. 100ドル金貨



B. 25ドル金貨



デザインと解説-3

<裏面>

親ウサギと子ウサギの周りに枝にからまった葛と木の葉を描いています。右側に中国語の『兔』、下部には卯年を表す英語の『Year of the Rabbit』が刻まれています。左側に刻まれたオーストラリア・パース造幣局のミントマーク“P”は、伝統を誇る優れた貨幣製造技術の象徴です。

30ドル銀貨は、カラー未使用貨です。1ドル銀貨は、左側からプルーフ貨、K24金メッキ未使用貨、カラー未使用貨、未使用貨の4つのタイプをセットにしています。

C. 30ドルカラー銀貨



D. 1ドル銀貨4種セット



①プルーフ貨



②K24金メッキ未使用貨



③カラー未使用貨



④未使用貨



商品の外観及び販売価格

A : 100ドル金貨

294,000 円 (税込)

限定 200 枚



*精緻なデザインを引き立てる美しいプルーフ仕上げ。黒いメタリックボックスの中で存在感がいちだん増します。

B : 25ドル金貨

84,000 円 (税込)

限定 300 枚



*純金ならではの輝きを最大限に魅せる美しいプルーフ仕上げ。コンパクトながらあたたかも宝石のような輝きを放ちます。



YEAR OF THE RABBIT 2011

C : 30ドルカラー銀貨

147,000 円 (税込)

限定 200 枚



*直径約 10cm、重量約 1 Kg とずっしり迫力あるボリューム感。
鮮やかなカラー仕上げがシルバー 素材に映える一品です。

D : 1ドル銀貨4種セット

42,000 円 (税込)

限定 400 セット



*プルーフ貨、K24 金メッキ未使用貨、カラー未使用貨、未使用貨。
それぞれの味わいが魅力的なコレクターズアイテムです。



(参考資料)

十二支とは

日本においても馴染みのある十二支は、毎年の年賀状やカレンダーなどにデザインされるとともに、自分の干支を迎える人々に幅広く親しまれています。

十二支が作られたのは古代中国で、当時は天文学で数を数えるための言葉（数詞）として用いられていました。

その頃の天文学者は12年で天を一周する木星（歳星）の位置を表すのに「子の区分にあるから子年」と言う風に示していたようで、それが殷の時代には既に使われていたとの事です。

そして、文献に十二支が出典したのが後漢時代の『論衡』で、作者は王充(おういつ)といい、十二支が浸透しやすいようによく知られているネズミや牛などの動物を当てはめたとされます。

六世紀後半の、飛鳥時代の頃の日本にも伝播し、江戸時代にはすっかり定着していたようです。

十二支については中国・日本に限らず、台湾やモンゴル、意外な所ではロシアやベラルーシにも広がっているなど、ユーラシア大陸各地に浸透しています。

2011 年は卯年

卯はうさぎで、素早い動きとジャンプ力が特技のうさぎは、ことわざに「うさぎの上り坂」とあるように、良い方向に進む躍動感ある生き物です。卯年は進歩のある年とされているようで、可愛らしい雰囲気から干支の置物や兎の縁起物は人気が高くなっています。うさぎは家族で行動するためか、家族愛を象徴する干支でもあり、卯年の方は温厚な方が多く、人間関係を上手に築いていく優しい性格であるようです。ただし、卯年の方は慎重で配慮が効く反面、先走りしないようにすると上手くいくといわれています。

卯年の年男・年女は1927, 1939, 1951, 1963, 1975, 1987, 1999年そして2011年生まれの人です。

オーストラリア・パース造幣局

オーストラリア・パース造幣局は、1899年に英国王立造幣局の支局として設立し、オーストラリアで最も古い歴史を誇る現存する造幣局です。当初は西オーストラリアで発掘される金の精錬とそれを使ってインド等、英国政府の植民地に向けたソブリン金貨を鑄造しており、1931年に英国が金本位制を廃止するまで続けました。その後変遷を重ねて、1970年には所有権を西オーストラリア州政府に移管しました。

1986年にはパース造幣局の代名詞でもあるナゲット金貨(現在のカンガルー金貨)を発表し、1997～2000年にはシドニーオリンピック公式コインの鑄造も行いました。

2006年には独立法人造幣局(日本)が海外造幣局との初コラボレーション企画で実現した、日豪交流年記念銀貨も鑄造し、その卓越した技術力は世界でもトップレベルと日本でも認知されています。

発売窓口

地方銀行 足利銀行、中国銀行、富山銀行、広島銀行、福井銀行、北越銀行、北陸銀行、北國銀行、山口銀行

第二地方銀行 富山第一銀行、福邦銀行、もみじ銀行